

BIMの日 2021 シンポジウム 「BIMの再定義～BIMって何でしたっけ？」

主催 日本建築学会 情報システム技術委員会 設計・生産の情報化小委員会

後援（予定） 空気調和・衛生工学会、建築保全センター、日本ファシリティマネジメント協会、
buildingSMART Japan

当小委員会では設計・生産における ICT 活用の状況について、その歴史、活用方法、プロセスについて研究するとともに、これを取り巻く職能・職域、組織といった周辺環境について調査研究を進めてきた。その一環として、2015年より毎年2月に「BIMの日シンポジウム」を開催してきた。7回目を迎える今回は、「BIMの再定義～BIMって何でしたっけ？」をテーマに掲げ、これまでのBIMの取組事例の知見を整理し、改めてBIMの価値、今後のビジョンを議論するシンポジウムを開催する。まず、小委員会下部の4つのWGの活動報告を行う。その後、BIMに造詣が深い実務者を招いて「BIMの再定義～これからのBIM」と題したパネルディスカッションを行い、今後の建築プロセスとBIMの関係性として目指すべき方向を議論する。

日時 2021年2月17日（水） 13:00～17:40
会場 電子会議システム ZOOM を利用したオンライン
定員 200名（申込み先着順）

タイムテーブル

司会：木村謙（エーアンドエー）

13:00～13:10 主旨説明 幡宮祥平（安井建築設計事務所）

第1部 設計・生産の情報化小委員会 WG 報告

| | | |
|-------------|------------------------|-------------------|
| 13:10～14:30 | 報告1. 設計・生産の情報化実態調査 WG | 山極邦之（大林組） |
| | 報告2. 建築情報学技術研究WG | 種田元晴（種田建築研究所） |
| | 報告3. 情報連携共通化 WG | 上嶋泰史（U's Factory） |
| | 報告4. IPD コラボレーション研究 WG | 飯島憲一（大阪電気通信大学） |

14:30～14:40 休憩

第2部 BIMの再定義～BIMって何でしたっけ？

14:40～16:00 「あなたにとってのBIMとは何ですか？」に答えていただくかたちで、これまでのBIM取組や、それを通じて得たBIMに対する気づきについて語っていただく。
山梨知彦（日建設計）
関戸博高（スターツコーポレーション/Unique Works）
石津優子（ジオメトリデザインエンジニアラボ）
中沢英子（大林組）

16:00～17:30 パネルディスカッション「これからのBIMを再定義する」
前段の発表をもとに、これからのBIMに取り組むにあたって我々が共有すべき価値、ビジョンについてを議論したい。

コーディネーター：猪里孝司（大成建設）
パネリスト：山梨知彦（前掲）
関戸博高（前掲）
石津優子（前掲）
中沢英子（前掲）

17:30～17:40 まとめ 鹿島孝（竹中工務店）

参加費（資料代含む）：

日本建築学会会員 2,500円、後援団体会員 3,000円、会員外 3,500円、学生 2,000円（事前クレジットカード払い）

申込方法：

WEB事前申込み 日本建築学会 催し物・公募一覧 ▶<https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=637595>

問合せ先：日本建築学会事務局 事業グループ 高畑 Tel. 03-3456-2057

BIM DAY 2021